

木更津市中心市街地活性化協議会
令和3年度第2回会議録

日 時：令和3年12月22日（水）15：30～17：00

場 所：中央公民館第7会議室

出席委員（敬称略）

団体名	役 職	氏 名	備考
木更津商工会議所	会頭	鈴木 克己	副会長
木更津市富士見通り商店街振興組合	理事長	吉田 弘	
木更津東部商店街振興組合	専務理事	奈良本 浩規	
木更津一番街商店街振興組合	理事長	立川 明義	
中央地区まちづくり協議会	会長	高木 厚行	
日東交通株式会社	代表取締役社長	小宮 一則	
一般社団法人木更津市観光協会	会長	野口 義信	
君津信用組合 本店	本店長	渡邊 一彦	
京葉銀行 木更津支店	支店長	深山 孝夫	
館山信用金庫 木更津支店	支店長	田村 知己	
千葉興業銀行 木更津支店	支店長	熱田 稔	
一般社団法人まちづくり木更津	理事	齋藤 武	
日本大学	教授	北野 幸樹	会長
木更津市	副市長	田中 幸子	
木更津市	企画部長	山口 芳一	
木更津市	都市整備部長	土屋 文孝	

※オブザーバーとして、木更津市市長公室公共施設マネジメント課 品川課長出席。

配付資料

- ・木更津市中心市街地活性化協議会令和3年度第2回会議 会議次第
- ・木更津市中心市街地活性化協議会令和3年度第2回会議 出席者名簿
- ・木更津市中心市街地活性化協議会令和3年度第2回会議 席次表
- ・木更津市中心市街地活性化基本計画の変更一覧表 [資料1]
- ・木更津市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表 [資料2]
- ・中心市街地活性化基本計画の軽微な変更に係る届出について [資料3]
- ・木更津市庁舎整備事業について [資料4]
- ・ユース部会活動報告 [報告資料]

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 木更津市中心市街地活性化基本計画の変更申請について

事務局より全体の変更予定事業について説明後、新規事業である「木更津駅西口賑わい交流施設整備事業」について、オブザーバーの木更津市市長公室公共施設マネジメント課 品川課長より説明がなされた。

[質疑]

野口委員：賑わいのあるまちでは、公共交通機関集積所から適度な距離を保った位置に市庁舎等が存している印象があったため、今回の計画地に新庁舎が建つことが中心市街地の賑わい創出になるのか疑問。また、西口市営駐車場は私の記憶だと約117億円かけて建てたと聞いている。壊してまた作るというのは、建設会社にとっては仕事が増えて良いかもしれないが、民間の人間だったらこんな考えはしない。使用できるものは使用し足りないものは作る。市民目線に立ってこの結論を出しているのか疑問。

品川課長：中心市街地活性化という点で、木更津駅周辺で提案募集をかけた。駅の東口にて提案した事業者もいたが、結果的に今回の計画地になったということでご理解いただきたい。また、現在の西口市営駐車場は大規模改修が必要な状況で費用も多額となる見込みのため、そういった意味では早めに取り壊すことで市の負担を減らせる。また、代替の駐車場は今後民間が整備・運営することとなる。双方（民間・行政）にとって良い整備手法となるよう進めていきたいと思っている。

野口委員：民間からの提案だけで、そこに市はまちづくりとしての要望等は反映させないのか。市が多額のコストで建設したにも関わらず、まだ使える建物を取り壊し、代替のものは民間に建ててもらうというのはまちづくりとしてどうなのか。副会長と会長の意見を伺いたい。

鈴木副会長：駅付近では新庁舎整備、みなと方面ではパークベイプロジェクトの整備が進むことで賑わい創出のきっかけになると思っている。また、既存施設の有効活用の点については、今回のようなある程度のエリアをまとめて何かしようとする場合、決して既存施設をないがしろにする訳ではないが、新規の物を作るというのは私は有りだと思う。

北野会長：木更津の中心市街地には、みなと、富士見通り、駅等という軸があり、その軸をさらにもっと広げるという意味で「回遊性」という言葉を使用しており、まちをつくっても回遊性はなかなか生まれず、リニアな線的に作られたものから横へ広がり、さらにそれが繋がることでまちなかに人が多くたたずむ空間が生まれると思っている。駅、みなと、朝日庁舎が、有機的につながるこ

とが重要。今回の新庁舎についても分庁舎を継続し、かつ、場所も住宅地のある場所と人が中心的に集まる駅前、窓口となる場所にそれぞれ計画されているということは、中心市街地活性化に向けて大きな役割を担っていると思っている。その意味で公共的な事業を公が単独で行うのではなく、市民・民間・公共が一体となって今後のまちの持続性を担保していく必要があり、今回の木更津市の取り組みは全国的に見ても大きな特徴を持った取り組みとして評価されるべきだと思っている。コストの面から考えると、長い目で見ると非常にメリットのある選択であると認識している。既存の施設も長いスパンで考えたときに、今しておいた方が良く、逆にもっと先にしておいた方が良く、というのを精査する中で、今しておいた方が未来に役に立つのではないかと判断も必要になるのだと思う。野口委員からいただいた意見も重々受け止め、これからの中心市街地活性化に向かって1歩1歩踏み出し、さらに前を向ければと思っているのでぜひご協力いただきたい。

野口委員：個人的に疑問が残るところはあるが承知した。

齋藤委員：コスト面がどのくらいなのか、どのくらいの費用対効果なのか、明確に分かった方が良くと思った。また、最近地震が多く発生しているが、今回の新庁舎整備事業の内容に防災という観点での落とし込みはしているか？

品川課長：代替の駐車場については、市のほうで費用は発生せず民間運営になる。また、防災の観点についても、自家発電の設備や避難所としても機能できる施設というところで進めていきたいと考えている。

齋藤委員：防災の面は新昭和さんに任せているということか。

品川課長：市で借用するフロアについて、非常時には避難スペースにもなれるようお願いをし、また、設備的なものの提案を先方からいただいているので、今後詳細を検討していく予定。

齋藤委員：民間施設の場合、市民はそこに避難して良いのか不安になってしまったりすると思うので、民間に丸投げではなく市民等と一緒に考えていければ良いのではと思っている。

小宮委員：市役所が新庁舎へ移転した後、このスパークルシティの建物の今後の見通し等について、今お話しできる範囲で教えていただきたい。

品川課長：民間のビルということもあり、具体的に今お話しできることは無い。

木更津市中心市街地活性化基本計画の変更申請について承認された。

小宮委員：先程説明のあった、パークベイプロジェクトや来年の芸術祭の開催は、中心市街地活性化にとって重要であると考えているが、現時点での最新の情報などをお教えいただきたい。

木更津市：5月にプレスリリースしているのでご存知かと思うが、パークベイプロジェクト（鳥居崎海浜公園整備）は、公園の整備及び市内の飲食店3店舗が出店

し、賑わい創出を目指すものとなっている。

また、芸術祭については詳細は未定だが、教育部文化課が主体となって動いており、中心市街地内において市制施行80周年記念事業の1つとしてアートを生かしたまちづくりを推進していくものである。市民の日である11月3日の実施を目指すという案が出ている。

4 その他

事務局よりユース部会の活動報告について、報告資料を用いて説明。また、ユース部会会員のうち代表2名より、活動の感想等を述べていただいた。

5 閉会